

シチマンタル

PTA活動スタート!

十五日(金)、部育成会総会、PTA総会、新任職員歓迎会が開催されました。無事、総会議事も承認され平成二七年度PTA活動が本格的にスタートしました。

総会では、これまで本校の教育活動を支えてこられた方々へ感謝状の贈呈と部活動を「指導いただく外部指導者へ委嘱状の交付を行いました。

今年度のPTA活動の核となる役員も併せて紹介します。

◎常任委員会

- ◇PTA会長 翁長 啓
- ◇ 〃 副会長 大城 勝
- ◇ 〃 〃 新里直子
- ◇ 〃 〃 西 香
- ◇環境整備部長 知念 司
- ◇校外指導部長 花城五十六
- ◇家庭教育部長 岸本いその
- ◇文化部長 平 亜紀子
- ◇保健体育部長 喜納雄一
- ◎部育成会
- ◇部育成会会長 新崎勝久
- ◇ 〃 副会長 岡 利男



羽地中学校
名護市字仲尾次 770
Tel 58-1234
Fax 58-1247
□発行 校長 島袋賢雄

感謝

- ◎外部指導者(部活動)
- ◇ソフトテニス男女 國場幸野
- ◇バスケット女子 山入端悟
- ◇野 球 仲村仁吾、大城 淳
- ◇サッカー 渡嘉敷晃、新里 憲
- ◎感謝状受賞者
- ◇宮里一邦(総務)
- ◇喜瀬慎達(校外指導)
- ◇山入端悟(保健体育)
- ◇宮城真人(学年PTA)



歓迎会では、PTA会員、職員
の余興や飛び入り参加もあり、
たいへん盛り上がりました。
区長さんや民生委員・児童委
員、青少協、シチマンタル会
の方々の参加もいただきました。
心から感謝申し上げます。

歓迎 先輩方ようこそ!

今月、25日より本校出身の先輩方10名を含む12名の教育実習がスタートしました。教育実習の先生方を紹介します。

- 座喜味美也子(伊差川): 英語 大阪大学
- 浜元亜里紗(田井等): 英語 岐阜聖徳学園大学
- 三島 司(広島県): 英語 名桜大学
- 平識 大地(我部祖河): 理科 琉球大学
- 大城 まり(伊差川): 理科 琉球大学
- 嶺井 蓮乃(古我知): 保健体育 城西国際大学
- 宮城佑里乃(仲尾次): 保健体育 名桜大学
- 嶺井 聖(古我知): 国語 聖徳大学
- 津波 佳希(伊差川): 国語 琉球大学
- 照屋 杏奈(我部祖河): 数学 福岡大学
- 岩木みのり(北海道): 養護教諭 名桜大学
- 比嘉 コミ(我部祖河): 養護教諭 十文字学園女子大学



なぜ、勉強するの??

「なぜ、勉強するの?」「勉強して何の役にたつ
の?」「子どもたちからよく問われる言葉です。
小さい頃、「自分は大人になったら、〇〇になりた
い」「いや、〇〇もいや」と、子どもはよく口に
します。しかし、中学生の時期になると、その大人に
なったら「〇〇になりたい」という夢がだんだん減っ
てきます。つまり、「なりたい自分」「なれる自分」が
だんだん減ってくるということ、そのことは当然の
ことでもあります。

中学生という時期は理想と現実のはざま、葛藤し
ながら過ごしています。しかし、ややもするとこの時
期は、自分自身と向き合うことから、逃げてしまっ
たり、自分自身ではなく、他人に責任を預けてしまっ
たりということも多々あると思います。だから、葛藤し
たり、自信を失ったり、悩んだりするのは、

「自分自身と向き合わない」「他人のせいにする」
ある意味『楽』です。逆に「自分と向き合う」「自分
で責任をとる」ということは、大変なことです。もち
ろん努力も伴うし、手間暇のかかることでもあります。
だから、たいへんなことから避けたい……。し
かし、大人になる前の中学生という時期に、自分自身
と正面から向き合うという努力をしてほしいと願っ
ています。とても勇気のいることでもあるし、他人の
力を借りながらでもいいと思います。

先ほど述べた、「自分自身と向き合う」とは「なりた
い自分」「なれる自分」を追求することです。

そのためには次の二点が大切です。
一つ目は、壁にぶつかり悩みながら、自分をよく知
ること(長所、短所など)。【危機】

一つ目は、自分を信じ、日々の授業(勉強)に真剣
に取り組むこと。【投入】

その二つのことが「なりたい自分」「なれる自分」を
少しでも広げていくことにつながるといえます。
「なぜ、勉強するの?」の答えもここにあります。